

第1649号 2024年1月1日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を
世界プロ独立世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟（統一委員会）

革命万葉

発行所 戦旗社

編集発行人 鹿島 昂

東京都足立区鍛錬7-2-11

電話 03 (6876) 6136

郵便番号 00180-4-176133

http://www.bund21.org

今号8頁 300円

年間購読料（送料込）

開封6,300円 密封7,000円

1~5面：新年号第一論文（情勢）

5面：2024年 共闘団体からのアピール

6~7面：2023岩国行動報告

8面：11・23「県民平和大集会」と全国各地の取り組み

國際主義賀く反戦闘争で 殺戮と破壊を即時停戦へ



反戦・反基地、ガザ侵攻弾劾を訴え、岩国基地に向けてデモ(11月19日 岩国行動報告記事6~7面掲載)

搾取・収奪・排外主義を打倒しよう 現代帝国主義を打倒しよう

11月11日ロシアがウクライナに侵攻して侵略戦争を続けており、11月13日にはイスラエルがガザに侵攻し殺戮と破壊を続けている。米帝をはじめとする帝国主義は世界支配の覇権を護持するために分断と対立を強めてきたが、その結果引き起こされた戦争を、軍事力で抑えつけることも、外交的に停戦させることもできない。

それどころではない。現代帝国主義は、眼前の戦争に軍事支援し、殺戮と破壊を激化させている。帝国主義の基幹産業である金属、機械、化学、航空宇宙産業は、この軍事支援で生産を回復させている。労働者人民から搾り取った税金、そして国債の形で未來の労働者人民から搾り取る税金が、莫大な軍事支援資金として投入されている。帝国主義が進めてきた世界の分断と対立の元で、二つの戦争が停戦しないまま、11月14年を迎えている。十分な食物がなく、暖かい場所で休むことができずに、大量虐殺の恐怖に直面して、11月14年を迎えている人々がいるのだ。

われわれは今、戦争が続く世界に生きている。一刻も早く、殺戮と破壊を止めなくてはならない。

11月14年、ウクライナとガザ、二つの戦場での殺戮を直ちにやめさせなければならない。

労働者階級人民が全世界で反戦闘争に立ち上がり、闘い続ける世界で、今を生きているのだ。この困難な時代に、改めてプロレタリア国際主義を貫いて自國帝国主義打倒を闘おう。

同志、友人、「戦旗」読者の皆さんに、今号（1月1日）と次号（1月10日）をもって、共産主義者同盟（統一委員会）の年頭の提起を行なう。今号に第一論文（情勢）を、次号に第二論文（総括、方針、党建設）を掲載していく。

世界情勢

ガザ軍事侵攻弾劾

イスラエルの

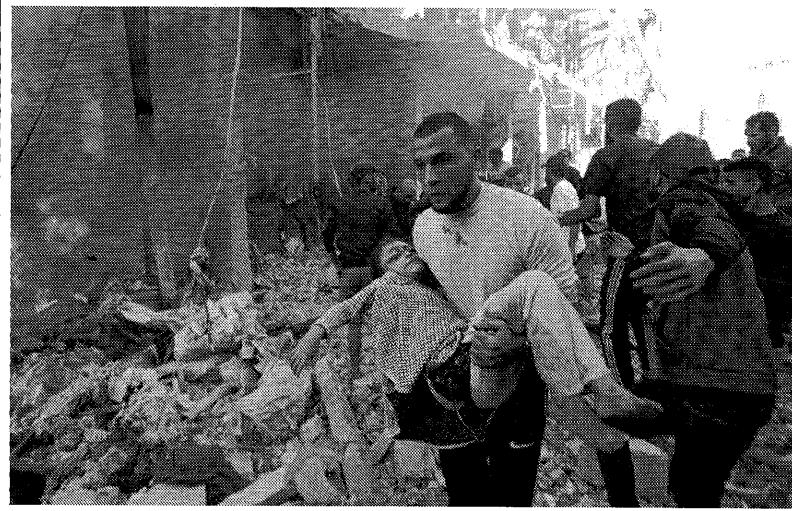
集させ、さらに三五六万人の予備役も招集して、戦時態勢をとった。

ガザ地区を陸上でも海上でも封鎖し、電力、燃料、水食糧の供給を止めた。エジプトとの国境からの物資搬入も厳しく制限した。水、食糧の搬入がなされるようになつても、ハマスを利用する法政権は、「ハマスの絶滅」を宣言してガザへの空爆を繰り返した。ガザとの境界にイスラエル軍一〇万を結ぶ

二つの戦争と
現代帝国主義の反動

「代執行」判決弾劾！

辺野古新基地建設阻止



イスラエル軍はガザ南部へと攻撃を拡大している
(12月17日 南部ラファ)

は第二段階に入った」と宣言して、本格的に地上攻撃を開始した。イスラエル軍は、ハマスの拠点がガザの地下にあるという「理由」で、ガザ市を無差別に攻撃。学校、病院、国連の難民施設まで爆撃し、地上軍が直接入り込んで攻撃した。

エタニヤフは、拳国一致の戦時内閣を樹立させて、ガザ攻撃に踏み込んだ。ヨルダン川两岸をユダヤ人国家の領土と主張する「大イスラエル主義」のリクードなど右派、極右が中枢を握ったネタニヤフ戦時内閣は、ハマスを壊滅させて、ガザ全域を制圧することを企図している。

エタニヤフはハマスを標榜して、米英独仏伊の五ヵ国首脳は、イスラエル軍が制圧したことによるが、ガザ攻撃は無差別であり、殺戮し破壊した地域をイスラエル軍が制圧しようとしている。「報復」と主張して戦争に着手した

（2）

は、イスラエルに對して「搾取」を自衛権として擁護し、軍事支援を続ける米帝をはじめとした帝国主義をこそ弾劾しなければならない。

日本が議長国として主導する国連安理会決議に対しイスラエルの軍事侵攻を正当化した。ガザ侵攻に対する国連安理会決議を正して否決した。

日本が議長国として主導した昨年一月七、八日のG7外相・東京会合では、ガザ軍事侵攻の「人道的休止」を支持するとはしたも

（3）

の、G7全体の一致は、ネットの意図をあらざまにしたのだ。ガザでの殺戮を正当化し、ハマスの虐殺を続けるエタニヤフ政権は、ナゴルノ・カラバフで開催された。その首脳会議では新たにサウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、エジプト、イラン、アルゼンチン、エチオピアの六ヵ国が、パレスチナ全土を制圧しようとする極右シオニストの「自衛権」なのだ。

ガザでの殺戮を正当化し、ハマスの虐殺を続けるエタニヤフ政権は、ナゴルノ・カラバフで開催された。その首脳会議では新たにサウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、エジプト、イラン、アルゼンチン、エチオピアの六ヵ国が、パレスチナ全土を制圧しようとする極右シオニストの「自衛権」なのだ。

ガザでの殺戮を正当化し、ハマスの虐殺を続けるエタニヤフ政権は、ナゴルノ・カラバフで開催された。その首脳会議では新たにサウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、エジプト、イラン、アルゼンチン、エチオピアの六ヵ国が、パレスチナ全土を制圧しようとする極右シオニストの「自衛権」なのだ。

（4）

（5）

（6）

（7）

（8）

（9）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

（101）

（102）

（103）

（104）

（105）

（106）

（107）

（108）

（109）

（110）

（111）

（112）

（113）

（114）

（115）

（116）

（117）

（118）

（119）

（120）

（121）

（122）

（123）

（124）

（125）

（126）

（127）

（128）

（129）

（130）

（131）

（132）

（133）

（134）

（135）

（136）

（137）

（138）

（139）

（140）

（141）

（142）

（143）

（144）

（145）

（146）

（147）

（148）

（149）

（150）

（151）

（152）

（153）

（154）

（155）

（156）

（157）

（158）

（159）

（160）

（161）

（162）

（163）

（164）

（165）

（166）

（167）

（168）

（169）

（170）

（171）

（172）

（173）

（174）

（175）

（176）

（177）

（178）

（179）

（180）

（181）

（182）

（183）

（184）

（185）

（186）

（187）

（188）

（189）

（190）

（191）

（192）

（193）

（194）

（195）

（196）

（197）

（198）

（199）

（200）

（201）

（202）

（203）

（204）

（205）

（206）

（207）

（208）

（209）

（210）

（211）

（212）

（213）

（214）

（215）

（216）

（217）

（218）

（219）

（220）

（221）

（222）

（223）

（224）

（225）

（226）

（227）

（228）

（229）

（230）

（231）

（232）

（233）

（234）

（235）

（236）

（237）

（238）

（239）

（240）

（241）

（242）

（243）

（244）

（245）

（246）

（247）

（248）

（249）

（250）

（251）

（252）

（253）

（254）

（255）

（256）

（257）

（258）

（259）

（260）

（261）

（262）

（263）

（264）

（265）

（266）

（267）

（268）

（269）

（270）

（271）

（272）

（273）

（274）

（275）

（276）

（277）

（278）

（279）

（280）

（281）

（282）

（283）

（284）

（285）

（286）

（287）

（288）

（289）

（290）

（291）

（292）

（293）

（294）

（295）

（296）

（297）

（298）

（299）

（300）

（301）

（302）

（303）

（304）

（305）

（306）

（307）

（308）

（309）

（310）

（311）

（312）

（313）

（314）

（315）

（316）

（317）

（318）

（319）

（320）

（321）

（322）

（323）

（324）

（325）

（326）

（327）

（328）

（329）

（330）

（331）

（332）

（333）

（334）

（335）

（336）

（337）

（338）

（339）

（340）

（341）

（342）

（343）

（344）

（345）

（346）

（347）

（348）

（349）

（350）

（351）

（352）

（353）

（354）

（355）

（356）

（357）

（358）

（359）

（360）

（361）

（362）

（363）

（364）

（365）

（366）

（367）

（368）

（369）

（370）

（371）

（372）

（373）

（374）

（375）

（376）

（377）

（378）

（379）

（380）

（381）

（382）

（383）

（384）

（385）

（386）

（387）

（388）

（389）

（390）

（391）

（392）

（393）

（394）

（395）

（396）

（397）

（398）

（399）

（400）

（401）

（402）

（403）

（404）

（405）

（406）

（407）

（408）

（409）

（410）

（411）

（412）

（413）

（414）

（415）

（416）

（417）

（418）

（419）

（420）

（421）

（422）

（423）

（424）

（425）

（426）

（427）

（428）

（429）

（430）

（431）

（432）

（433）

（434）

（435）

（436）

（437）

（438）

（439）

（440）

（441）

（442）

（443）

（444）

（445）

（446）

（447）

（448）

（449）

（450）

（451）

（452）

（453）

（454）

（455）

（456）

（457）

（458）

（459）

（460）

（461）

（462）

（463）

（464）

（465）

（466）

（467）

（468）

（469）

（470）

（471）

（472）

（473）

（474）

（475）

（476）

（477）

（478）

（479）

（480）

（481）

（482）

（483）

（484）

（485）

（486）

（487）

（488）

（489）

（490）

（491）

（492）

（493）

（494）

（495）

（496）

（497）

（498）

（499）

（500）

（501）

（502）

（503）

（504）

（505）

（506）

（507）

（508）

（509）

（510）

（511）

（512）

（513）

（514）

（515）

（516）

（517）

（518）

（519）

（520）

（521）

（522）

（523）

（524）

（525）

（526）

（527）

（528）

（529）

（530）

（531）

（532）

（533）

（534）

（535）

（536）

（537）

（538）

（539）

（540）

（541）

（542）

（543）

（544）

（545）

（546）

（547）

（548）

（549）

（550）

（551）

（552）

（553）

（554）

（555）

（556）

（557）

（558）

（559）

（560）

（561）

（562）

（563）

（564）

（565）

（566）

（567）

（568）

（569）

（570）

（571）

（572）

（573）

（574）

（575）

（576）

（577）

（578）

（579）

（580）

（581）

（582）

（583）

（584）

（585）

（586）

（587）

（588）

（589）

（590）

（591）

（592）

（593）

（594）

（595）

（596）

（597）

（598）

（599）

（600）

（601）

（602）

（603）

（604）

（605）

（606）

（607）

（608）

（609）

（610）

（611）

（612）

（613）

（614）

（615）

（616）

（617）

（618）

（619）

（620）

（621）

（622）

（623）

（624）

（625）

（626）

（627）

（628）

（629）

（630）

（631）

（632）

（633）

（634）

（635）

（636）

（637）

（638）

（639）

（640）

（641）

（642）

（643）

（644）

（645）

（646）

（647）

（648）

（649）

（650）

（651）

（652）

（653）

（654）

（655）

（656）

（657）

（658）

（659）

（660）

（661）

（662）

（663）

（664）

（665）

（666）

（667）

（668）

11・18-19 2023 岩国行動成功



生活・権利防衛と反戦闘争を一体に闘う決意が語られた
(11月18日 岩国市)

11・18

岩国・労働者反戦交流会

今こそ労働者の闘いで 戦争への道を打ち碎こう

一月一八日岩国福祉会館において「岩国・労働者反戦交流集会」が全国各地から七〇名を超える労働者が結集して開催された。

集会はまず、壇上代表から「岸田政権は、軍事力増強と増税を行おうとしている。また、ウクライナでの戦争は未だ終わらず、今はガザでイスラエルによる爆撃が行われている。これに対しても岸田政権はアメリカが行なっている。一方、労働者市民は、全国各地でウクライナに平和をと声をあげ、全港湾は沖縄の港でアメリカの掃海艇の石垣港へ入港反対などの取り組みを行った。米軍と自衛隊が一体となつた軍事力強化が行われている、ここ岩国での労働者反戦の闘いは

意義あるものである。

集会成功に向けて頑張ろう」という開会の挨拶が行われた。

続いて、沖縄の闘いと韓

国で開かれた集会の様子を、全港湾の陣内さんが映像も交えて報告した。リアルな映像は、闘いの息吹を感じてくれた。次に「米軍基地に反対する会」の大森さんが東京での闘いを報告し、横田基地から排出された泡消火剤の井戸水汚染についても

原因と責任を追及する闘いが行われている」という報告があった。

ユニオン北九州からは

「戦争は労働者の生活と権利を奪うものと毎月2日の日

の築城基地への行動などを

行っている。また、外国人技

能実習生に対する人権と労

働者としての権利を無視し

た行為に対し、日常的な

支援と技能実習制度の廃止

に向けた取り組みを行って

おり、「ミサイルよりも

カーワーカーズユニオ

ンからは「ミサイルよりも

訓練飛行は

年々頻度が増え、飛行差し止めを求める訴訟が地元住民から提訴されている。毎月一日には横田基地前の座り込みも行われている。今

横田基地から飛び立ち、岩

国基地を経由して沖縄などへ行っている。

訓練飛行は

年々頻度が増え、飛行差し止めを求める訴訟が地元住民から提訴されている。毎月一日には横田基地前の座り込みも行われている。今

横田基地から飛び立ち、岩

国基地を経由して沖縁などへ行っている。

訓練飛行は

年々頻度が増え、飛行差し止めを求める訴訟が地元住民から提訴されている。毎月一日には横田基地前の座り込みも行われている。今

横田基地から飛び立ち、岩

国基地を経由して沖縄などへ行っている。

訓練飛行は

年々頻度が増え、飛行差し止めを求める訴訟が地元住民から提訴されている。毎月一日には横田基地前の座り込みも行われている。今

横田基地から飛び立ち、岩

国基地を経由して沖縄などへ行っている。

訓練飛行は

年々頻度が増え、飛行差し止めを求める訴



イスラエルのガザ侵攻弾劾、ウクライナ反戦、琉球弧の戦場化阻止を掲げ、米軍岩国基地に肉薄
(11月19日 岩国市)

11・19

屋外集会——岩国基地デモ ガザ侵攻弾劾！ 米軍基地に肉薄

一月一九日一二時三〇分、岩国基地に向けた抗議デモの前段の取り組みとして、岩国市役所前公園広場においてミニ集会が開催された。

天気は快晴で、暖かい日差しのもとでの集会だ。はじめに地元からの発言が行われた。

岩国市議会議員で「住民投票を力にする会」代表の松田一志さんは、昨年の二月の米兵による車の窃盗事件・交通事故について、「米軍犯罪を許さない署名を集めた。一万三〇〇〇名

の署名が集まり、裁判に持ち込まれた。首都圈からは、米軍基地に反対する実行委員会が発言。米軍横田基地、奈川の米軍基地に対する抗議行動を紹介した。

山口県労連代表の松富豊さんは、「ガザでは、一万二〇〇〇人の死者が出ている。そのうち五〇〇〇人が死んでいた」と日本地位協定をじて開けた。

「ピースリンク広島・呉・岩国」の新田秀樹さんは、「日本が再びアジアにむけて脅威を与えるようとしている。岩国基地、呉基地が強化されて出撃拠点になろうとしている。広島を出撃拠点にさせない。自衛隊基地の強化を許さない集会を取り組む。これからも声をあげていく」と発言した。

原発いらん！ 山口ネットワークの三浦さんは、「上関原発問題は一九八二年から取り組んでいる」ことを

進める日本政府、一旦戦争になれば、ウクライナやパレスチナのような悲惨な状況になるのは明かだ。大軍拡をやめさせ、平和な日本をつくること」を呼びかけた。

関西からは、AWCユーロが発言した。「毎年岩国に、二〇代から四〇代の労働者・学生が参加している。核物質。周辺の市町村も反対の声を挙げている」

と反原発を粘り強く取り組んだ。

岩国行動代表の山口ネットワークの三浦さんは、「上

関原発問題は一九八二年から取り組んでいる」ことを

取り組んでいた。

岩国行動の最後、「守らう愛

岩山」の歌を参加者全員で斉

唱へた。

九州からは、ユニオン北

地域としてイスラエルの方

を訴え続けることを報告

した。

山口県労連代表の松富豊

さんは、「ガザでは、一万二

〇〇〇人の死者が出てい

て、そのうち五〇〇〇人が死

んでいた」と日本地位協定をじて開けた。

「世界で起ち上がる反戦の闘いに繋がる闘いを共に進めていく」と呼びかけた。

最後に岩国のスローガンを読み上げ拍手で確認し、集

11・19

台湾、韓国との参加者と共に 戦争阻止の共同行動で一致

一月一九日、2023年岩国行動二日目の行動として、岩国国際連帯集会が岩国市福祉会館において開催された。

一月一九日、2023年岩国行動二日目の行動として、岩国国際連帯集会が岩国市福祉会館において開催された。

会が読み上げ、参加者の拍手で確認した。

次に、台湾と韓国の海外ゲストの発言だ。

台湾労働人権協会の方は、「日米による『台湾有事』の扇動を糾弾する」と題して、韓国でAWC国際幹事会が開催されたことを報告した。

ははじめに、主催者あいさつをアジア共同行動日本連絡事務局がおこなった。一週間前に、韓国でAWC国際幹事会が開催されたことを報告。韓国、日本、台湾、インドネシア、フィリピンから参加がかかるとされ、日本韓による中国包囲網に反対する、アジア民衆の共同行動が決議された。イスラエルのガザ侵攻に対する緊急声明、日本の放射能汚染水海洋排出に対する緊急声明が決議された。そして、米大使館、日本大使館に対する抗議行動を取り組んだことを報告した。そして、集会後は、「核兵器も原発も軍事同盟もない世界」と題した内容で発言した。盈徳郡(ヨンドク)で原子力発電所建設反対を取り組んできた経緯として、福島原発事故の影響で「核の平和利用」はあり得ないと知ったこと。「住民投票で91・7%が原発建設反対に投票し、文在寅政権時に原発建設白紙化が決断状況が七年続いているが、朝鮮半島情勢については、米日韓の同盟がさらに強化されようとしていることを

指摘した。

AWC韓国委員会の方は、「核兵器も原発も軍事同盟もない世界」と題した内容で発言した。盈徳郡(ヨンドク)で原子力発電所建設反対を取り組んできた経緯として、福島原発事故の影響で「核の平和利用」はあり得ないと知ったこと。「住

民投票で91・7%が原発建設反対に投票し、文在寅政権時に原発建設白紙化が決断状況が七年続いているが、朝鮮半島情勢については、米日韓の同盟がさらに強化されようとしていることを

指摘した。



奥武山公園陸上競技場には1万人以上が結集した(11月23日 那覇市)

「県民平和大集会」

一万余の総決起で軍事要塞化阻止を決意

11・23 沖縄

一月二三日、夏日となつた好天の下、那覇市の奥武山公園陸上競技場で開かれた「全国連帯11・23県民平和大集会」が一人人余の結集で大成功を収めた。主催は、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」だ。

周知の通り「県民の会」は、昨年一二月岸田政権による安保三文書閣議決定を機に、「敵基地攻撃能力」獲得をかざして一気に戦争突撃、相次ぐ自衛隊基地建設と沖縄・琉球弧の軍事要塞化を図る動きに反撃するために結集した、七〇を超える市民・住民団体や個人で構成された。2・26緊急集会、5・21平和集会、9・24キックオフ集会等の諸集会・諸行動を経てこの日の大集会に至った。これまでの「県議会派主導による県民大会」と違い、住民・集会の後半は島々からの報告。与那国島の明るい未来を願うインバの会、石垣市議会議員、宮古島平和ネットワーク、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会、自衛隊弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会、ヘリ基地反対協議会、奄美ブルック護憲平和フォーラム、馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会(メッセージ)から現状と闘いの決意が表明され、連帶の拍手が響き渡った。若者からの発言に続き行動提起を山城博治事務局長が行った。彼は、若い世代を見守り全力で押し出していくこ

一月二三日、夏日となつた好天の下、那覇市の奥武山公園陸上競技場で開かれた「全国連帯11・23県民平和大集会」が一人人余の結集で大成功を収めた。主催は、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」だ。

市民団体の結集による積み上げの集会であったことや、主催者の瑞慶賀敏共同代表(前那覇市長)は会結成の経過を踏まえ、また全国各地での連帯集会開催にもふれ、「ミサイルもシェルターモーらない。平和で安心安全な社会、平和をつくるため心を一つに」と呼びかけた。

大歓声と拍手の中登壇した玉城デニー知事は、沖縄有事論で「沖縄有事」を煽るズディアによる印象操作を指摘し、ファクト(事実)とエビデンス(証拠)によってフェイク(偽物)にだまされない行動を取ろうと訴え加した。主催は「止めよう! 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会(国会包囲実)、協賛が「戦争させない・九条壊すな! 総がかり行動実行委員会」(総がかり行動実行委員会)が開催され、「1000名が参加」した。

この取り組みは、沖縄でかとの危機感が、沖縄での共通認識として訴えられてきた「戦争をさせない種

「辺野古埋め立て」代執行を許さない! 南西諸島の軍事要塞化を許さない! 」

正門前において、「沖縄も日本も戦場にさせるな!」と叫ぶ

正門前において、「沖縄も日本も戦場にさせるな!」と叫ぶ